

I これまでの山上の説教。

「心の貧しい者（自分の無力さを心から認め、へりくだり神に拠り頼む者）は幸いです。

天の御国はその人のものだから」：3。

「悲しむ者（自分の数えきれない罪を悲しみ、悔い改め、方向転換し神に立ち返る者）は幸いです。

その人たちは慰められる（主の十字架の血の恵みで赦され神との関係が回復するという真の慰めを受ける）から」：4。

「柔和な者（へりくだり、自己過信が砕かれ、人の評価ではなく、すべてをご存知の神の前を生きる、温順で優しい者）は幸いです。その人たちは地を受け継ぐ（天国に行く前のこの地上で、神が置かれた境遇で、ないものではなく、神から与えられているものを心から感謝し満ち足りる事を学ぶ。神ご自身を喜び満ち足りている）から」：5。

「義（主の十字架の恵みによる神との正しい関係、義である主ご自身との交わり）に飢え渴く者（神との交わり、神を深く知る事を求め続ける）は幸いです。その人たちは満ち足りる（神との正しい関係、深い交わりは、私達の心を真に満たす）から」：6。

これらに続く御言葉→

II 「あわれみ深い者は幸いです。その人たちはあわれみを受けるから」：7。

1. 憐み深い者になる為には、自分自身が、いかに罪深く、その罪を神が深い憐れみをもって赦して下さっているか理解し続ける事である。私達の心と態度、行いには多くの罪がある。

他の人だけに罪があると思い上がるのではなく、自分自身の罪を神の前に認める人は幸い。

聖書が示す私達の罪＝

①「不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、酩酊（酒におぼれる）、遊興（悪い遊びに支配される）」ガラテヤ5：19－21。

②「あらゆる不義と悪とむさぼりと悪意とに満ちた者、ねたみと殺意と争いと欺きと悪巧みでいっぱいになった者、神を憎む者、人を人と思わぬ者、高ぶる者、大言壮語する者、親に逆らう者、わきまえない者（先週の説教、霊的な子供状態）、約束を破る者、情け知らずの者、慈愛のない者（本日の御言葉の反対。あわれみのない者）」ローマ1：29－31。

③「人の心から出て来るものは、悪い考え、不品行、盗み、殺人、姦淫、貪欲、よこしま、欺き、好色、ねたみ、そしり、高ぶり、愚かさであり、これらの悪はみな内側から出て、人を汚す」マルコ7：21－23。神は、これらの罪が私達の中にある事をご存知だった。

そんな私達を神は見捨てずに、想像を越えた憐みを示して下さった。今も与えておられる。

神の憐みがなければ、世界中の私達人間は、今は生きておらず、とっくに滅んでいる。

2. 神の憐み。

①「私たちが滅びうせなかったのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ。

それは朝毎に新しい。『あなたの真実は力強い。主こそ、私の受ける分です』と私のたましいは言う。

それゆえ、私は主を待ち望む」哀歌3：22－24

②「主は、あなたのすべての咎（罪）を赦し、…主は、憐み深く、情け深い。怒るのにおそく、恵み豊かである。主は、絶えず争ってはおられない。いつまでも、怒ってはおられない。

私たちの罪にしたがって扱うことをせず、私たちの咎にしたがって私たちに報いることもない（私達の代わりにキリストが十字架で、私達の罪の報い＝想像を絶する苦しみと罪の刑罰をすべて、完全に受け、罪を償い尽くされた）」詩篇103：3-10。

- ③「私たちもみな、かつては不従順の子らの中であって、自分の肉（罪の性質）の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし—あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです」エペソ2：3-5。
- ④「神は、実に、そのひとり子を（救い主として）お与えになった（クリスマスに与え、十字架のひどい苦しみと死に渡された）ほどに、世（私達）を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠いのち（素晴らしい神と親しく交わり、神を知り続けるいのち。将来ではなく主を信じた時から与えられている）を持つためである」ヨハネ3：16。
- ⑤パウロの言葉「私は以前は、神をけがす者、迫害をする者、暴力をふるう者でした。それでも…あわれみを受けたのです。私たちの主の、この恵みは、キリスト・イエスにある信仰と愛とともに、ますます満ちあふれるようになりました。『キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世に来られた』ということばは、まことであり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。…そのような私があわれみを受けたのは、イエス・キリストが、今後彼を信じて永遠のいのちを得ようとしている人々の見本にしようとして、まず私に対してこの上ない寛容を示してくださったからです」Iテモ1：13-16。
- ⑥「私には、私たちの主イエス・キリストの十字架（神の憐み）以外に誇りとするものが決してあってはなりません」ガラ6：14

Ⅲ「その人たちはあわれみを受けるから」。

- ①神からいただくあわれみを感謝しつつ、人に示す時、神は、人を通して、あわれみを受ける恵みを与えられる。
- ②神からいただくあふれるあわれみを感謝しつつ、憐み深くさせていただく時、世の終わりの神の裁き、報いの時、神から憐みをいただく。「神は正しい方であって、あなたがたの行いを忘れず、あなたがたがこれまで聖徒たちに仕え、また今も仕えて神の御名のために示したあの愛をお忘れにならないのです」ヘブル6：10。

祈り：自分の数えきれない罪の故に滅んで当然の私達を深く憐み、救って下さったあなたの深い憐れみを心から感謝します。救われた後も私達の罪を赦し、憐みを示し続けて下さっている恵みを感謝します。神の深い憐れみを受け続け、私達も憐み深い者に変えられ続けますように。